

とんとん発

国立水俣病総合研究センター「国水研」（くにすいけん）は今年、開設三十周年を迎えます。国水研では三十年分の感謝の気持ちを込めて、そして、より一層市民の皆様に親しみを持つて頂くため沢山の三十周年記念イベントを企画しています。

国水研三十周年記念イベントの看板やポスターに使用の表紙（下段）にも載っている黄色のロゴマークが付いています。

このロゴマーク付きの看板やポスターを街中で見かけられたり、「あ、国水研つて今度何やるんだ？」「なんて思って頂けたら幸いです。そしてイベントに参加して頂けたらもっと嬉しいです。どうぞ宜しくお願ひいたします。

国水研は、水俣病に関する総合的な調査、研究、そして国内外の情報の収集、整理及び提供を行うこととこれに関連する研修の実施を目的として環境省の機関として熊本県水俣市に設置されています。国水研は、わが国の公害の原点といえる水俣病とその原因となつたメチル水銀に関する総合的な調査・研究、情報の収集・整理・研究成果や情報の提供を行うことにより、国内外の公害の再発を防止し、被害地域の福祉に貢献することをめざしています。



海岸で生物調査～2001年撮影、その後の研究成果は次号で掲載予定。乞うご期待！

●特集 三十周年を迎えて

国水研の動き

国水研からのお知らせ

- 第一回健康セミナーのご案内
- 第一回学術講演会の報告
- 第一回リハビリ技術講習会の報告
- 第一回健康セミナー開催報告
- 国水研一般公開の報告

ご来場ありがとうございました!!

●それいけ！研究者

新任部長自己紹介

●健康相談室から

- メタボ検診について
- 情報センターからのご案内

●編集後記

「本日のとんとん発」

●アワセスマッシュ



30周年記念ロゴマーク

目次

特集 三〇周年を迎えて

基礎研究部 生化学室長

安武 章

国立水俣病総合研究センターの前身、環境庁国立水俣病研究センター創立(昭和五三年一〇月)から今年でちょうど三〇年になります。その数年後、自然の美しさに魅せられてこの地に赴任し、はや二〇余年。初めての実験動物を相手に、ただがむしゃらに水銀の体への影響を調べ続けてまいりました。赴任当時は、中央の研究・管理棟のみだった施設も、長期実験を行うためのSPPF・中大動物実験棟、ラジオアイソトープ実験棟、リサーチ・リソースバンク棟、国際協力棟、共同研修棟、そして明神の水俣病情報センターまで含めると、六棟の増加をみています。施設の拡大に伴い、実験室内での研究業務のほかに、国際協力、情報発信といった外向けの業務の必要性も加わってまいりました。

これまでに中国への汚染調査グループにも加わったこともあります。個別的にはやはり、平成一二年から五年間にわたる毛髪水銀の全国調査には、初めての外部に対象を求めた仕事として感慨深いものを感じます。その経験から、様々な情報の乱れ飛ぶ現代社会



いよいよ、
国水研スタート！

WHO研究協力機関に指
定。世界の国水研へ！

RI(ラジオアイソトー
プ)でより深い研究を

新設RI実験棟はココ
(矢印)

*SPPFとは病原菌をもたない実験動物のこと。
感染症を避けるため、長期実験には不可欠。

において、正確な情報をわかりやすく伝えることがいかに大切なことであるかがわかつたように思います。三〇周年をひとつの節目として、国水研職員としてどのような貢献ができるか? これままでに中国への汚染調査グループにも加わったこともあります。個別的にはやはり、平成一二年から五年間にわたる毛髪水銀の全国調査には、初めての外部に対象を求めた仕事として感慨深いものを感じます。その経験から、様々な情報の乱れ飛ぶ現代社会

湯の児の海はシロギスの宝庫。週末のリフレッシュは、私のエネルギー源！



～The 30th
anniversary



6月 国水研紹介パネルの設置(新水俣駅)

一般公開

健康セミナー「メタボリックシンドロームについて」

毛髪水銀の出張分析(徳島市)

健康セミナー「脳卒中について」

地域福祉祭り参加

水俣病情報センター展示更新作業開始

国水研の動き

(平成二〇年四月～七月)

四月一四日 JICA研修ペルー他五ヶ国来所

四月一四日～二五日 台湾国立成功大学一行視察

四月三〇日 鹿児島大学地球環境科学科来所

五月一日 台湾国立成功大学一行視察

五月一日 水俣病犠牲者慰靈式

五月一日 新潟県立環境と人間のふれあい館館長ほか来所

六月九日 水俣臺北医師会共催学術講演会

六月一日 「神経疾患の診断と治療の最前線」機関評価委員会

六月一四日 JICA研修アルジェリア一行来所

六月一八日 センター一般公開

六月一五日 脳磁計導入検討会

六月一一日 あいぽーと徳島一行来所

六月一九日 JICA研修フィリピン一行来所

六月二九日 リハビリテーション技術講習会

六月二九日 リハビリテーション技術講習会

七月一〇日 「片麻痺回復のための促通反復療法」JICA研修トナム他二ヶ国一行来所

七月九日 台湾南台科技大学一行来所

七月一九日 第一回国際健康セミナー「メタボリックシンドロームについて」



新水俣駅

お知らせ

第15回健康セミナーのご案内！



六月九日(月)、水俣市立総合医療センターにて、国水研と水俣芦北郡医師会共催の第一回学術講演会を開催しました。「神経疾患の診断と治療の最前線」をテーマに、飛松省三先生(九州大学大学院医学研究科脳神経病研究施設神経生理教授)と山田和慶先生(熊本大学医学部脳神経外科助教授)のお二方にご講演いただきました。当日は多くの医療関係者にご参加いただきありがとうございました。

第1回学術講演会を開催しました♪



六月九日(月)、情報センターにて、国立循環器病センター名誉総長・社団法人日本脳卒中協会理事長橋本洋一郎先生(熊本市熊本市民病院)が講師として、「ヒトは血管とともに老いる」をテーマに「脳卒中を中心とした」脳卒中の最新動向について講演されました。

とき 八月九日(土)
午後二時半～四時半
ところ 情報センター
講師 山口武典先生
(国立循環器病センター名誉総長・社団法人日本脳卒中協会理事長橋本洋一郎先生)

六月二十九日(日)、情報センターにて第一回リハビリテーション技術講習会を開催しました。川平和美先生(鹿児島大学リハビリテーション医学教授)を講師にお招きして、「川平法」と呼ばれるリハビリテーション手技の理論と実技をたっぷりと教授していただきました。定員五十名の募集に八〇名を超える申し込みがあり、参加したりハ専門の方々からは「充実した講習会だった」「ぜひまた参加したい」と感想をいただきました。



第14回健康セミナーを開催しました♪



七月十九日(土)、情報センターにて第一回健康セミナーを開催しました。今回は水俣市立総合医療センター糖尿病センター長に着任された西田健朗先生に「メタボリックシンドromeについて」というテーマでご講演いただきました。今話題のメタボリックシンドrome。当口は簡単なメタボリックの測定もあり、皆さんのがん心も高いよう熱心に先生のお話を耳を傾けていました。

六月二十四日(土)、国水研30周年記念一般公開を行いました。
当日の写真で、実施した企画をご紹介します。
九〇余名ものご来館、ありがとうございました！！



pHを調べることで分かるアルカリ性や酸性と、虫歯の関係を科学しました。他にも、顕微鏡をつかってアスベストなどを観察する体験も。

第1回リハビリテーション技術講習会を開催しました♪



30周年一般公開を終えて



昨年の一般公開で実施した化学反応を利用したストラックアウトに、バッティング版も登場。



新聞紙を使ってエコバックを作ってみました。子供から大人まで、楽しいエコ体験でした。



リハビリで使っているビーズアート作りに挑戦。他にも力のいらない介助のコツの紹介も。



それいけ！研究者！

新任部署自己紹介



基礎研究部 部長
佐々木 真敬

四月一日より
赴任しております、
佐々木眞敬(さ
きまさのり)
と申します。以
下Q&A形式にて自己紹介をいたしま
す。

Q. どうから来ましたか。

A. 静岡県伊豆の国市です。家から富
士山がきれいに見えるんですよ。特に
冬場は雪が積もって最高です。

Q. 以前はどんな仕事をしてきました

A. 製薬会社に勤務し、医薬品の研究
開発に携わっていました。具体的には、
実験動物や培養細胞などを使って、新
薬のたまごがヒトで効果があり、かつ、
安全であるかを研究しておつもでした。
手がけた新薬は、お医者さんを通じて
皆さんも飲んでおられるかもしませ
ん。

Q. 生まれはどうですか、水俣は初め
てですか。

A. 生まれは京都です。水俣に住むの
は初めてです。ただ、鹿児島大学出身
なので、九州住まいの経験はあります。
水俣の印象は、人じんまり
として、かつまとまつていて、人も親
切で、住みやすい街と感じています。私も親
水と空気、そして特に魚があらしきの
は、特筆です。あの水銀汚染からきれ
いな海に回復され、安全でおもしろ魚
が取れるようになつた事、関係者の皆
さんの努力はたらくんだつたと思います。

Q. 国水研での仕事を。

A. 水俣病については、まだまだわか
らないことが多いですね。水銀
の影響の基礎的な研究部門において、こ
れまでの医薬品研究の経験を生かし
て、水俣病研究の一層の進歩に貢献し
たいと思っています。また、研究企画
室も兼任しており、国水研全体の研究・
業務の円滑な実施にも寄与したいた
思いまわ。

事情があります。メタボ検診はいつも
つた社会的事情に警鐘を鳴らすとこ
う意味でも期待されています。



情報センターからのメッセージ

共同企画展「その時細川一ぱるの動

いたのか」を開催中▼国水研と水俣病
資料館の共同企画展を十月末までの
日程で開催しています。(入場無料・月
曜日休館)水俣病の発見と原因究明に
力を尽くした「細川一博士」について
写真を中心としたパネル展示です。こ
の機会にぜひ来場下さい。

健康相談室から

～メタボ検診について～

メタボリックシンドロームは、内臓
脂肪型肥満に加え、高血糖、高血圧、高
脂血症の中の一以上を合併した状

態の事を指します。高血糖や高血圧は、
単独でも動脈硬化性疾患の危険因子

ですが、これらが複数あると発生頻度
が飛躍的に高まります。しかし、一方
で痛いなどの自覚症状がない為、あま

り深刻に捉える人が多くなっています。

事情があります。メタボ検診はいつも
つた社会的事情に警鐘を鳴らすとこ
う意味でも期待されています。

E-mail mai1@nims.go.jp

アクセスマップ



編集後記 本田のとんとん

今回、編集後記を担当する事になりました。
「編集後記」が世の中のありとありゆる
雑誌にあることを知りました。生まれ
て三五年間殆どその存在に気づいてお
らず、とんとん隊の編集会議では他の
メンバーに驚かれてしました。そ
の気になって探してみると色々な雑誌
に編集後記って載ってるんですね。。。
って気がついてしまった今日この頃です。
ご意見ご感想を、左記のメールアド
レスまでお願い致します。(S.M.)